

会の活動の記録（2012年1月～12月）

当会の共同代表らが呼びかけ発起人となって 「怒りの大集会」を 開催！

6月3日（日）

「原発の再稼働反対！ 安保強化・増税を許すな！ 6・3怒りの大集会」に、1160人が参加

開会あいさつで古川路明さんが、野田政権がもくろむ原発の再稼働決定の動きに強い怒りを表明。続いて福島県飯館村酪農家の長谷川健一さんが、原発事故による放射能汚染に苦しめられている現地の状況を報告しました。学生が「野田とオバマのあぶないKIZUNA」と題した寸劇を熱演。



長谷川健一さん

続いて実行委員会の代表が、「野田反動政権による原発の再稼働、日米安保の強化、消費税増税の攻撃を団結して打ち砕こう」という趣旨の問題提起をしました。



日比谷公会堂

さらに元原発労働者の斉藤征二さんが「大飯原発の再稼働は、もってのほか！」と呼びかけ、沖縄の「反基地ネットワーク」の代表、自治体職場で働く労働者、学生の代表が、それぞれの闘いを報告し力強く決意を述べました。閉会あいさつで森井眞さんが、「主体的、積極的に世界に平和を創りだしていこう」と訴えかけ、参加者は大きな拍手で応えました。発言以外にも、橋本勝さんの絵本の読み聞かせや池田龍雄さんの新しい絵画の展示など、創意的な企画があり大盛況でした。

10月7日（日）

「原発の再稼働反対！ オスプレイ配備を許すな！ 10・7怒りの大集会」に、1130人が参加

冒頭の主催者あいさつで、古川路明さんが「沖縄県民大会で大きな感銘を受けました」と報告。北海道の斉藤武一さんは紙芝居を使って、30年以上もの長い年月をかけて原発の温排水の影響を観測してきたことを述べ、「今こそ脱原発の市民革命を！」と呼びかけました。



なかのZERO大ホール

次に実行委員会の代表が「民主党政権の安保強化、原発再稼働に反対するだけでなく、政権奪回をねらう安倍・石破の自民党のうごめきにも警戒しよう」と問題提起しました。続いて「普天間を揺るがした6日間」と題した基地ゲート封鎖闘争のビデオが上映され、沖縄現地からは「オスプレイ配備反対に燃える沖縄」の報告と「今こそ『安保反対』の闘いを」という呼びかけがありました。



斉藤武一さん

さらに画家の池田龍雄さんが、60年安保闘争の体験にふれ「あきらめずたたかい続けよう」と呼びかけました。また労働者から「会社の悪辣な解雇攻撃を打ち砕きました」という感動的な報告があり、大きな拍手がわき起こりました。学生からは、普天間基地ゲート封鎖闘争の報告が元気よくおこなわれました。閉会あいさつでは、森井眞さんが、「個の尊厳を守ろう、という同じ心を抱く市民が、政党・党派・所属・立場などの違いをこえて、連帯して人間解放のために忍耐強くたたかっていたい」と、熱烈に呼びかけました。

原発再稼働反対！ オスプレイ配備反対！ 多くの仲間と団結して闘いました！

2月11日（土）

「再稼働許すな！ 2・11さようなら原発1000万人アクション全国一斉行動 in 東京」に参加しました。



代々木公園に、労働者・市民・学生1万2000人が集まりました。「戦争を許さない市民の会」は、明治公園までデモ行進し、原発再稼働反対を力強くアピールしました。

3月11日(日)
「原発いらない！3・11
福島県民大集会」に参加
しました。

福島県内外から1万
6000人が参加し、「原発
再稼働阻止！」「原発止めろ！」の巨大な声を轟か
せました。私たち「戦争を許さない市民の会」も、
古川路明共同代表を先頭に、多くの市民が参加し
ました。(福島県・郡山市)



3月24日(土)
「さようなら原発 1
000万人署名集約集
会」に参加しました。
(日比谷野外音楽堂)



5月3日(木)
5・3憲法集会「輝け9条 生かそう憲法 平和と
くらしに 被災地に」に参加しました。(日比谷公
会堂)

5月5日(土)
「原発ゼロの日 さようなら原発5・5集会」に参加
しました。(芝公園)

6月6日(水)
「許さない！大飯原発再稼
働 さようなら原発1000
万人署名第一次集約集
会」に参加しました。(日比谷
野外音楽堂)



6月16日(土)
「大飯原発再稼働反対首相
官邸抗議行動」に参加しま
した。(首相官邸前)



6月26日(火)
「消費税増税法反対国会前行
動」に参加しました。(国会前)



7月13日(金)
「7・13緊急！大飯原発3
号機を停止せよ！」首相官邸
前抗議行動に参加しました。



7月16日(月)
「さようなら原発10万人集会」
に参加しました。

私たち「戦争を許さない市
民の会」も元気にデモ行進を
貫徹。共同代表の池田龍雄さん
があいさつし、イラストレ
ーターの橋本勝さんも「脱原
発憲法」の読み聞かせを熱演
しました。さらに、9人の方
から寄せられたメッセージが
紹介されました。



池田龍雄さん

7月23日(月)
「オスプレイ配備反対首相官
邸前抗議行動」に参加しまし
た。(霞が関・首相官邸前)



7月29日(日)
「7・29脱原発国会大包围」に参加しました。



20万人がデモ行進



橋本勝さんが読み聞かせ

9月9日(日)
「9・9沖縄県民大会と同時アクション『国会包
囲』～オスプレイ配備を中止に追い込もう！～」
に参加しました。(国会正門前)

9月9日(日)
古川路明共同代表を先頭に
「オスプレイNO沖縄県民大
会」に参加しました。(宜野湾
市海浜公園)



古川路明さん

9月25日(火)
「原子力空母 G・ワシントンの配備撤回を求める
横須賀集会」に参加しました。

9月28日(金)
「大飯原発を停止せよ！ 首相官邸前抗議」に参
加しました。

10月13日(土)

「10・13さようなら原発集会 in 日比谷」に参加しました。(日比谷野外音楽堂)



11月4日(日)

「止めるぞ！オスプレイの沖縄配備 許すな！低空飛行訓練 11・4全国集会」に参加しました。(芝公園)



11月11日(日)

「11・11反原発100万人大占拠」に参加しました。

東京都がデモ出発点の日比谷公園使用を許可しませんでした。私たちは、これに抗議し午後3時

からの首相官邸前と国会正門前の抗議行動に参加しました。

12月15日(土)

「さようなら原発世界大集会」に参加しました。(デモ行進 東京電力前)



12月23日(日)

「オスプレイ配備撤回！怒りの神奈川行動」に参加しました。



同日沖縄で行われた「怒りの御万人行動」と連帯し、800名が厚木基地ゲートへ向けてデモ行進しました。

「10・13集会妨害国賠訴訟」6・4東京地裁の不当判決を糾弾し断固控訴！ 第1回控訴審裁判(10月30日)が開かれる

＜戦争と貧困の強制＞に反対する市民集会を、60名もの公安警察が監視・威圧し、ビデオ盗撮までおこなった——これに対して、私たちは「集会の自由」を守るために10・13



裁判報告会で発言する森井眞さん
(10月30日)

3集会妨害国賠訴訟を進めてきました。「これを許せば、政府の施策に反対する集会は警察の監視下でなければおこなえなくなる」と、危機感に燃える多くの方々に支えられ、200人を超す大弁護団のもとで憲法訴訟としてたたかってきました。

ところが、6月4日東京地裁(小林久起裁判長)は、不当にも私たちの請求を棄却する判決を出しました。「集会場に公安警察が蝟集するのは『参加者に不快感や相当の違和感』を与えるが、革マル派が参加していれば参加者全員をビデオ盗撮してもかまわない」というのです。

原告・弁護団は直ちに東京高裁に控訴し、10月30日に控訴審第1回裁判が開かれました。

原告を代表して森井眞さんが意見陳述しました。森井さんは、冒頭「東京地裁の判決を全面的に拒否します」と力強く宣言し、「もし弓削達さんが、

また土屋公献さんがこの判決を聞いていたら、二人とも激怒していたに違いありません」と満身の怒りをこめて弾劾しました。そして、戦前の権力がお上に従わない者に「アカ」とレッテルを貼って迫害したのと同様に、今度は「革マル派」と呼んで同じことをやろうとしている。これを断じて許してはならない、と判決を厳しく批判しました。

次に弁護団が、控訴理由書の要旨を読み上げました。「公権力の監視下で集会に参加するという状況は、集会の自由が守られているといえるのか?!」と真正面から問いかけ、「集会の自由」よりも警察の“情報収集”という目的の“正当性”を優先した地裁判決の立論は明白な憲法違反に他ならないと、判決の問題性を鋭く突き出しました。

〔2012年は、6月4日の地裁判決に先立ち、1月23日の第15回裁判(原告証人4人が証言)、3月5日の第16回裁判(古川路明さんが原告として陳述)がおこなわれました。〕

控訴審第2回裁判は3月5日(火)の予定です。東京地裁の6/4不当判決を弾劾し、「10/13集会妨害国賠訴訟」の勝利に向けて、大きな支援をお願いします。極反動・安倍政権のもとでの平和運動・市民運動に対するファシズム的な弾圧をも許さず、ともに連帯して闘いましょう！